

記入例

別紙

試験研究機関活用支援事業 事業計画書

フリガナ 企業名 〇〇〇〇株式会社		区分 ① 法人	代表者名 代表取締役 台東 太郎	
		2. 個人事業主	記入者氏名 台東 太郎	
登記簿上の 本店登録地	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 台東区〇〇〇-〇-〇		TEL	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
			FAX	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
連絡先所在地	〒 〇〇〇-〇〇〇〇 台東区〇〇〇-〇-〇 ※本店登録地と同じ場合「同上」で可		TEL	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
			FAX	03-〇〇〇〇-〇〇〇〇
事業開始 創業 昭和〇〇年〇月〇日 法人設立 昭和〇〇年〇月〇日			e-mail @ co.jp	
			URL http://www.〇〇〇〇	
業務内容 〇〇の企画・製造・卸売	業種 ① 製造 2. 卸・小売 3. その他	資本金(法人のみ) 〇〇〇万円	従業者数 正社員 〇 人 パート 〇 人 (内、当該事業従事者数 〇 人)	
業界団体・組合に 1. ① 加入している → 2. 加入していない		団体・組合名 東京都〇〇協同組合連合会		
1. 貴社の事業概要(業務の内容や取扱商品、サービスについて、全般的に記入して下さい)				
〇〇の企画・製造・販売等 多種多様な〇〇事業展開をしております。				
弊社の企画する〇〇は、〇〇に特徴があり、販売先からも高い評価を受けています。				
2. 検査・試験・研究・共同開発等をしようとする目的と内容(概要)を記入してください。				
(1) 目的 例① 新商品〇〇の開発にかかる耐久性等を調べるための耐久性試験及び温湿度試験				
例② 新サービス△△の開発にかかるターゲット層の絞り込みのためのモニタリングとデータ解析				
(2) 内容 例① 弊社では、新製品〇〇の開発をしている。市場に売り出すためには、〇〇ほどの耐久性が必要であるが、その数値に対する現状を把握するために、試験を行う。				
例② 弊社では、新サービス△△の開発をしている。サービスを開始するためには、モニタリングとその結果のデータ解析が必要であるが、多様な解析システムを研究している〇〇大学と共同で開発を行う。				
3. 今後のスケジュールを記入して下さい。(〇年〇月ごろ開始、〇年〇月ごろ終了見込など)				
〇〇年 〇月ごろ	試験依頼 / 研究依頼・共同開発依頼			
〇〇年 〇月ごろ	試験 / 研究・共同開発依頼			
〇〇年 〇月ごろ	試験結果の開示 / 研究結果の開示			
年 月ごろ				
4. 製品、サービスに関しての課題や問題点があれば記入してください。				
本製品に関し、〇年の完成・販売を目指し、順調に開発は進んできたが、耐久性等を維持しつつ、				
デザイン性の強化を行うことが課題である。				

5. 収支計画(必ず注意)

(支出)

内 容		内 訳
依頼試験料	2,077	耐久性試験 1 測定か所 1,000 サイクルにつき
依頼試験料	1,274	1,000 サイクルを超えて 2,000 サイクル分 637(1,000 サイクルごと)×2
依頼試験料	14,194	恒温試験
手数料	102	成績証明書の交付手数料
手数料	514	成績証明書の郵送手数料
合計(税抜)	18,161	

依頼試験料、依頼検査料、
機器利用料、手数料、
技術指導料 等を
ご記入ください。

注意事項

- ・ 助成金の申請書に記入する金額が対象になります。
- ・ 消費税は、総額に含めず、別添の「消費税計算書」に記入してください。
- ・ 支出の根拠となるもの(見積り等)を提出していただきます。

「支出の合計」と「収入の合計」は
一致します

(収入)

内 容	収入予定額(円)	内 訳
事業団からの 助成金	9,000 (千円未満端数切り捨て)	支出の部の合計額 <u>18,161</u> 円×1/2= <u>9080.5</u> 円 i. 「東京商工会議所の産学公連携相談窓口」を利用 10 万円限度 ii. 「都立産業技術研究センター」を利用 5 万円限度
自己資金	9,161	
合計(税抜)	18,161	